

モジャコ情報 (平成15年第1回調査結果)

調査期間：平成15年3月3～12日

鹿児島県水産試験場

調査船：おおすみ 63t

平成15年3月17日発行

調査海域：西薩，南薩，屋久島，種子島，大隅

1【海況】・・・“平年並み”

- ・ 黒潮北縁域は中之島の南11マイルにあり(3月8日現在)，離岸傾向にある。
- ・ 定期船による観測(3月8日現在)では，黒潮流域で22.3 (平年並み)，薩南海域で19.6 (平年並み)，西薩海域(3月9日現在)で15.7 (平年並み)であった。
1 平年値は，昭和54年から平成14年までの平均値。

2【調査結果】

(1) 流れ藻の分布・・・昨年同期に比べ多い

- ・ 流れ藻の視認個数は合計357個であり，10マイル当たり9.1個で，昨年同期(1.2個/10マイル)に比べ多い。また，平年(0.5個/10マイル)の18.2倍と非常に多い。
- ・ 採取した流れ藻重量は0.7～57.2kg(平均10.8kg)で，昨年同期(0.8～50.0kg，平均10.7kg)に比べほぼ同じ大きさの藻である。
- ・ 甕島北，宇治と草垣の間，口永良部島南西，口之島西方，屋久島南の海域で流れ藻が多い。

(2) モジャコの付着状況・・・昨年同期並み

- ・ 採取した流れ藻は17個であり，流れ藻1kg当たりの付着尾数は0.8尾/kgで，平年(3.6尾/kg)の0.2倍であるが，高水準の昨年同期(0.8尾/kg)と同じであることからモジャコ資源としては高水準であると考えられる。

(3) モジャコの大きさ・・・昨年同期に比べやや小型

- ・ 採捕したモジャコの全長は平均46.6mm(範囲：20～84mm，モード：40～44mm)であり，昨年同期(48.0mm)より小型で，平年(42.2mm)より大型であった。

2 平年とは昭和61年から平成14年までの3月の平均値。

表1 海況及びモジャコの付着状況(3月)

調査項目	海域	平成15年	平成14年	平成13年	平成12年	平成11年	平年(S61～H14)
流れ藻視認個数 (10マイル当たり)	大隅	0.0	0.2	0.5	0.0	0.0	0.1
	種子島	0.4	0.3	2.0	0.1	0.0	0.3
	屋久島	15.9	0.9	0.7	0.2	0.0	0.3
	南薩	20.0	2.4	0.7	0.5	0.3	0.7
	西薩	5.6	1.1		2.0	1.2	1.9
	平均(全海域)	12.8	1.2	0.8	0.2	0.4	0.5
流れ藻1kg当たり のモジャコ付着尾数	大隅			0.0	0.0		4.6
	種子島			5.5	6.8		6.9
	屋久島	0.7	0.2	2.8	0.2		7.8
	南薩	3.6	2.7		26.9	5.0	6.7
	西薩	1.0	0.2		4.9	2.1	1.5
	平均(全海域)	0.8	0.8	3.0	3.7	2.7	3.6
モジャコ平均全長 (mm)	大隅						31.5
	種子島			42.1	43.5		43.6
	屋久島	49.4	34.8	49.2	77.0		46.5
	南薩	38.3	51.3		27.4	77.5	42.3
	西薩	38.5	24.1		32.8	54.4	36.4
	平均(全海域)	46.6	48.0	46.8	39.5	69.2	42.2
定期船観測によ る各海域の3月上 平均水温()	黒潮流域	22.35	22.58	21.87	22.25	22.64	22.02
	薩南海域	19.62	18.60	18.60	20.22	19.80	19.23
	西薩海域	16.11	16.57	15.50	19.50	18.89	16.35

3 空欄は流れ藻を採取できなかった又はモジャコが付着していなかったことによる欠測。

4 定期船観測による各海域の平均水温()の平年値とは，S54～H14の平均である。